

# The 2010 G8 Summit's Contribution

Stephen Harper, prime minister, Canada

*G8 2009: From La Maddalena to L'Aquila*  
<<http://www.g8.utoronto.ca/scholar/g8-2009.pdf>>

2010年に開かれるG8サミット（オンタリオ州にあるハンツビル—Muskoka）は36回目の会合となり、カナダとしては5回目の主催となります。G8サミットは、大成功を収める集まりであることを長年証明してきました。サミットは立場を同じくする国々に、世界の大勢の人が抱える問題に対処し、人類が直面するいくつかの緊急課題に取り組むために必要な資源を整備するモメンタムを作る機会を与えます。

カナダはG8が国際問題に働いてきた役割を高く評価します。来年のMuskokaサミットは、経済低迷（混乱）の時期に開かれた市場と自由貿易を提唱し、地球温暖化に対処するための真の地球規模の行動を主張し、また自由、民主主義、人権や法の支配を支持するなどのG8の諸活動を進展させる非常に大きな機会となるでしょう。

私は、G8が2010年に向けて議題を進め続けられる4つの幅広い分野とは世界経済、気候変動、開発、そして民主的なガバナンスであると考えています。

## Economy（経済）

2008年の経済危機に続く国際的な協力のレベルはかつてないほどのものでした。各国の政府は金融システムを安定させ、減速する経済を刺激するために、G8やG20サミットでの協力を通じて、一斉でかつ迅速に行動しました。参加国は、保護主義的圧力に抵抗するために共同で意思表示（コミットメント）を行いました。カナダの金融部門は明らかに健全でしたが、私たちは、より広範な世界経済の減速に対抗するために重要な景気刺激策に取り組みました。そしてカナダはさらに進み、一方的な関税の削減を行うことや、自由貿易と経済連携協定といった野心的なプログラムを追求することにしました。

各国指導者がハンツビルに集まる2010年の夏までに、世界経済は危機から脱し、新たな成長を見せるだろうと私は期待しています。それでも、経済問題はMuskokaサミットにおいて全面的かつ中心的議題になるでしょう。参加国の指導者達は、危機に対処する一時的な政策対応を施すためのアクションを調整する必要があります。また、指導者達は特に雇用回復を促す方法を探さなければなりません。カナダは来年、議長国としての地位を利用し、自律的回復を支持することに勢いをつけると思われます。

## Climate Change (気候変動)

国連における気候変動の国際交渉は、今年12月、コペンハーゲンで終わる予定です。カナダは、野心的かつ包括的な新しい協定—地球規模排出の大部分をカバーし、すべての主要経済大国にとって法的拘束力のある措置—を達成するために、活発かつ建設的に働いています。

同時に、コペンハーゲンにおける交渉の成功の是非は、グリーンエネルギーの安全で安価な世界規模の供給拡大による手段を含む持続的成長を支持し可能にする(政策)ものにかかっています。

この目標を達成するためには、カナダとG8パートナー国、またアメリカ主催のエネルギーと気候に関する主要経済国フォーラム(MEF)参加国のリーダーシップが必要です。今後数ヶ月のうちに真の進展が達成されるには主要先進国と発展途上国の間での新しい協力が必要となります。主要経済国フォーラムはこの点において、国連の気候変動交渉に政治的に弾みをつけると同時に、クリーンエネルギー技術の開発と商業展開についてのグローバルな共同作業を深めるといった重要で新しいプロセスを提供します。

## Development (開発)

G8は長い間、国際開発におけるリーダー的役割を果たしてきました。G8は政府開発援助の約三分の二を占める世界最大の援助供与国をいくつか含んでいます。

また、G8はエイズ、結核、マラリアと闘うための世界的基金における総予算の約80パーセントと、世界ポリオ根絶計画(98パーセントに達する全ての国の貢献を含む)における総基金の50パーセントを提供しました。G8は短期間において、また世界経済危機という文脈において、持続的な貧困削減に不可欠な経済成長の回復のための開発資金の動因が可能です。またG8は、開発の社会的側面、すなわち健康、教育、そして妊婦と幼児に重要な福祉分野において国際的な関心を維持させることができます。

## Democratic Governance (民主的なガバナンス)

自由、民主主義、人権、および法の支配の促進は1975年のランブイエーサミット以来、長年G8の中心課題でありました。民主主義に関するG8の主なイニシアチブとして、民主主義の緒価値に関する宣言(1984年)や政治宣言：民主主義の確保(1990年)、コミュニケー：民主主義と人権(1997年)などがあげられます。

G8の成功の核心であります。共通の価値観はG8が素早く、また協調的に行動できる、効果的な組織にすることに役立ってきました。我々は共通の価値観が正当で安定した社会の基礎を形成すると信じています。従って、これらの価値観はMuskokaサミットに

において重要テーマとなるでしょう。そして私たちは、改良された統治が失敗の危機にさらされている脆弱な国家の強化に、大きな役割を果たすと考えています。

## Conclusion (結論)

G8は議題を前に推し進めたり、見落とされている論点に（国際社会の）注目を集めたり、もしくは最も重要なグローバルな課題に対応するための資源の動因を可能にするなどのしっかりした実績を持つ機構です。

私は以上の理由から、世界をMuskokaに迎えることを喜ばしく思っています。 Muskokaは、その風景が多くの詩人や画家にインスピレーションを与えるような典型的なカナダ（の地方）です。この地方は豊富な天然資源を持ち、広大な森林や600を越える石の海岸によって境界される湖を含みますが、カナダの最も大きい都心であるトロントから200キロしか離れていません。

Muskokaは当然のことながら、 都会に住む人々にとって以前から平和な避暑地であり、今では生態系保護観光の中心地であります。 この喉かな環境で、世界のリーダーたちが私たちの前で地球規模の緊急課題に取り組むための新たなインスピレーションが探せたら幸いと思っています。